

Zゲージ シンプルトランクレイアウト 制作ワークショップ ④水面と地面

2022/8/13
Baden谷九
静山



本日の内容（水面と地面）

- 水面

- 水面作成の材料と方法
- 波や水しぶきの表現
- 底の仕上げ方

- 地面

- 土の地面
- 芝生もしくは草に覆われた地面
- 道路のアスファルト
- 歩道やビルの基礎などのコンクリート
- 石畳



水面作成の材料と方法

A.透明に固まる材料を用いる方法

底色を塗った上に、材料を塗るか流し込むかする。

B.波模様になった透明なシートを用いる方法

底色を塗った上に、貼り付けるだけ。

※波模様があれば、**B.**が簡便で仕上がりもきれい。



A.透明に固まる材料

1液式と2液式がある。

1液式の例



2液式の例



B.波模様になった透明なシート



透明に固まる材料を用いる方法

- 深さを作って流し込みをしたくなるが、おすすめしない
2液レジンの場合、固まるときに発熱する場合があります、大量だと熱量も大きくてベースボードを傷める危険。
毛細管現象で周囲に染み出す場合がある。
毛細管現象で壁際で盛り上がり、水面が水平にならない。
※「ディープウォーター」という商品は流し込みに対応している様子。
- 底色を塗った上に筆で材料を薄く塗る、という方法がおすすめ
溪流など高低差のある場合も対応しやすい。



材料と表面の仕上がりについて

- 一般的に、1液式は固まったあとも表面に粘着性が若干残る傾向がある。これはホコリが付着する原因になる。例えば模型用のクリアコートやネイル用のトップコートなどでさらにコーティングする。
- 2液レジンは、一般的に、固まるとツルツルになるので、仕上がりがきれいで、ホコリ付着の心配がない。



波や水しぶきの表現

- 波の表現
 - 材料が固まるときに筆跡が残るようであれば、筆で塗るときに表面に波模様を付けるようにすれば良い。幅の広い平筆が良い。
 - 材料が固まるときに自然に平滑になってしまうようであれば、固まってから波表現用の別の材料で仕上げる。
- 水しぶきの表現
 - 固まってから、必要な箇所に白の絵の具を原液で筆塗りする。
 - 水がどっちに流れているかを意識して。



波の表現に使える材料の例



底の仕上げ方

- 底色について
 - 上記の方法での底色は、川底や池底の砂や泥の色ではなく、水も含めての色であることに注意。
 - いわゆる「水色」は、（太陽光線の加減でそういう色に見えるときもあるが）川や池の色としては適切でない。
 - もっと濃い青緑（どの程度かは想定する水の深さによる）であることが一般的。実際の川や池の色を観察されることをおすすめる。浅い川であれば、場所による水の深さによって緑の濃さが異なる様子など、よく観察して取り入れるとよい。
 - 水が深い場合は、少し黒を入れてもよい。そのほうが周囲の情景ともなじむ場合もある。
 - 塗料は普通のアクリル絵の具を混色すればよい。



川の着色の例



自分で混色せず、こういう塗料を使う方法も



底の仕上げ方

- 底の材質について
 - 薄い紙だと、底色を塗ったときに水分でたわんで波打つような状態となり、うまく仕上がらない。
 - 厚みのある紙か薄い板などがよい。



地面

- A.土の地面
- B.芝生もしくは草に覆われた地面
- C.道路のアスファルト
- D.歩道やビルの基礎などのコンクリート
- E.石畳

地面のどの部分をA.～E.にするか、ストラクチャの配置を前提に検討し、線引きする。

線路ギリギリに建物などがあって車両が接触するということがないように注意。道路は、現実で4m幅なら18mm幅、6m幅なら27mm幅となる。クルマを配置することも考えて検討する。



A.土の地面

- 粘度のあるベース塗料を塗り、茶系のパウダーを撒く。
ところどころ緑を入れて雑草を表現するのも良い。
- パウダーは最低**2色**、できれば**3色以上**を使い、べたっと同じ色にならないようにする。



ベース塗料の例



こういう塗料を使うとそれだけで土らしくなる。パウダーを少し補うと良い。

B.芝生もしくは草に覆われた地面

- 粘度のあるベース塗料を塗り、緑系のパウダー（二色以上使ってまだらにすると良い）を撒く。ところどころ土が見えているところは茶系のパウダーで。
- 芝生の場合は芝生紙を切って貼り付けるのが簡便だが、そのままではべたっとした印象になるので、まだらな緑になるように色を足すと良い。

芝生紙は伸縮性はないので、曲面に貼るのは難しい。



芝生紙の例



C.道路のアスファルト

- アスファルトの材料を塗る。筆跡が残らないように。



D.歩道やビルの周囲などのコンクリート

- 道路より一段高くなっているのが普通なので、厚紙を貼って、グレー系を塗る。



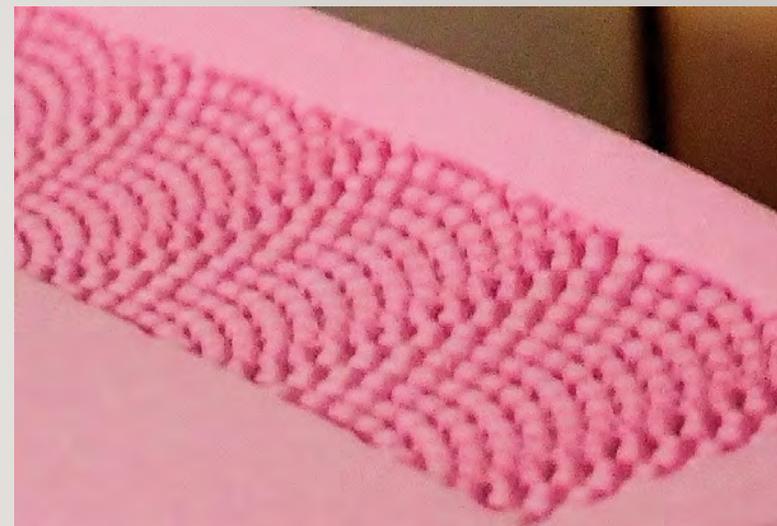
E.石畳

- ちゃんと凹凸のあるZスケールの石畳を簡便に作る方法は、まだない。
いろいろ試みているが、誰でも簡単にできる方法に至っていない。
- 静山の敷石/積石パターン生成ページで、**PDF**として生成し、プリントしたものを貼り付ける。遠目にはこれで十分。プリントする紙に凹凸のあるものを使うと若干実感性が増すか。
<http://www.stillberg.com/Pave/Pave.html>
- プラスチックのパターンシートで、うまくあうものがあれば、それに着色するのが簡便。

石畳制作の試行錯誤の例

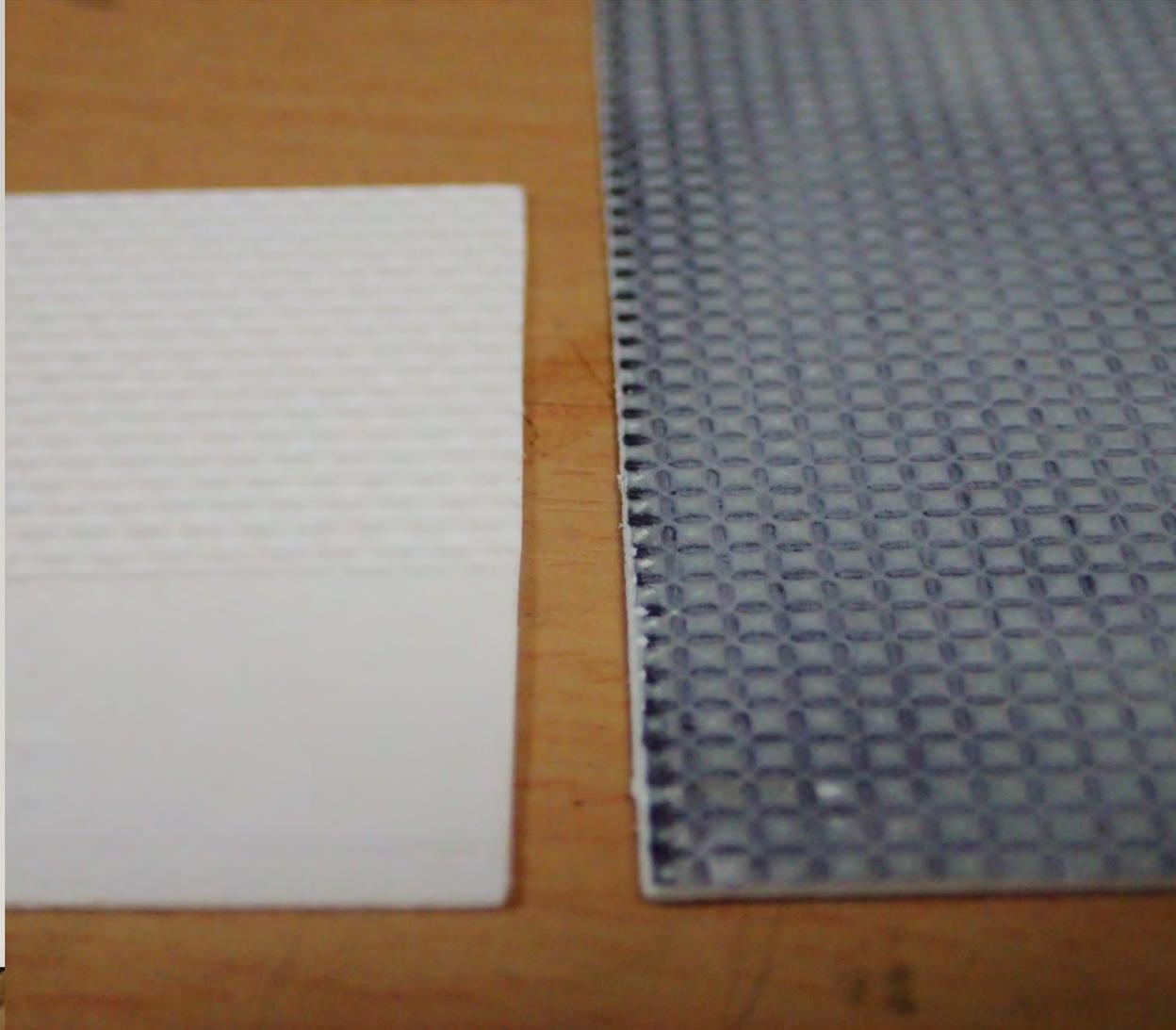


3Dプリンターで
作った型に和紙を
押しつけて



レーザーカッターで
薄い発泡素材に彫り
込みを入れて

パターンシート の例



次回予定～ストラクチャと照明

- ストラクチャ
- ストラクチャ内に照明を入れる場合の準備
- ストラクチャ内の照明
- 街灯
- ライトアップ